

訂正箇所		原	文	訂	正	文
ページ	行					
前見返し	世界のおもな国際機構・地域機構	<添付別紙 / 参照>		<添付別紙 2 参照>		
126	図 1	<添付別紙 3 参照>		<添付別紙 3 参照>		
134	図 1	<添付別紙 3 参照>		<添付別紙 3 参照>		
135	図 2 タイトル	↑2 EU 主要国と日本における再生可能エネルギー比率(世界国勢図会) 再生可能エネルギーの普及が著しいEUのなかでは、デンマークやスペイン、ポルトガル、ドイツなどでその比率が高い。		↑2 ヨーロッパ主要国と日本における再生可能エネルギー比率(世界国勢図会) 再生可能エネルギーの普及が著しいEUのなかでは、デンマークやスペイン、ポルトガル、ドイツなどでその比率が高い。		
138	図 1	<添付別紙 4 参照>		<添付別紙 4 参照>		
139	図 4 キャプション	は人口・面積において高い比率を占めている。		は人口・面積において高い比率を占めている。なお、EUの数値はイギリスを含む。		
165	図 4 キャプション	旅行者数は 1980 年代後半以降、急速に増えている。		旅行者数は 1980 年代後半以降、急速に増えてきた。なお、海外旅行者数の増減は、2020 年の新型コロナウイルスなど、感染症流行等の国際情勢によって大きな影響を受ける。		
166	図 1	<添付別紙 4 参照>		<添付別紙 4 参照>		
167	22	国間での域内分業と貿易を促進して、EU に対抗する経済圏をめぐっている。		国間での域内分業と貿易を促進して、EU に対抗する経済圏をめぐってきた。		
167	図 4 キャプション	↑4 おもな国の貿易額に占める FTA 締結国(発効済み)の割合(2014 年)(通商白書)		↑4 おもな国の貿易額に占める FTA 締結国(発効済み)の割合(2014 年)(通商白書) EUの数値はイギリスを含む。		
168	図 4 キャプション	↑4 おもな地域間の貿易の変化(ジェトロ資料)		↑4 おもな地域間の貿易の変化(ジェトロ資料) EUの数値はイギリスを含む。		

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
170	図4	<添付別紙 4 参照>	<添付別紙 4 参照>
231	図2	<添付別紙 5 参照>	<添付別紙 5 参照>
259	TERM	まれ、EU や NAFTA に対抗する市場として注目されている。	まれ、EU や <u>USMCA</u> に対抗する市場として注目されている。
283	図5	<添付別紙 5 参照>	<添付別紙 5 参照>
283	表6	<添付別紙 5 参照>	<添付別紙 5 参照>
283	NOTE	<p>したリスボン条約では、<u>欧州大統領が選出され、政治的な統合の動きもますます活発になっている。統合を通じてEUの経済規模は大きくなったが、2008年のアメリカに端を發した世界金融危機の影響や、ギリシャの国家財政の危機に直面するなど、深刻な課題もみられる。また、北アフリカやシリアなどからの大量の難民の流入・受け入れをめぐり、EU各国の意見の対立も生じてきている。</u></p>	<p>したリスボン条約では、<u>欧州大統領が選出された。統合を通じてEUの経済規模は大きくなったが、2008年のアメリカに端を發した世界金融危機の影響や、ギリシャの国家財政の危機など、深刻な課題もみられる。また、シリアなどからの大量の難民の受け入れをめぐり、EU各国の意見の対立も生じている。2020年にはイギリスが国民投票の結果をふまえてEUを離脱した。</u></p>
284	10~11	1962年からの <u>共通農業政策</u> (<u>図4</u>)のもとで、特定部門への専門化が進むなど、 <u>EUの農業</u> は著しい変貌を遂げてきている。	1962年からの <u>EUの共通農業政策</u> (<u>図4</u>)のもとで、特定部門への専門化が進むなど、 <u>ヨーロッパの農業</u> は著しい変貌を遂げてきている。
285	図5タイトル	↑ <u>5 EUのおもな工業地域</u> (Diercke Weltatlas 2002) EU最大の工業国はドイツで、自動車産業などの機械工業の輸出競争力が強い。	↑ <u>5 ヨーロッパのおもな工業地域</u> (Diercke Weltatlas 2002) EU最大の工業国はドイツで、自動車産業などの機械工業の輸出競争力が強い。

訂正箇所		原	文	訂	正	文
ページ	行					
285	図7タイトル	↑7 EU4 かの輸出品割合 (2016年) (世界国勢図会 2018/19年)		↑7 ヨーロッパ4 かの輸出品割合 (2016年) (世界国勢図会 2018/19年)		
287	図3タイトル	↑3 EU 諸国の産業別就業人口(世界の統計 2019年) イギリスやドイツなどの西ヨーロッパ諸国では第一次産業の割合が低いに対し、南ヨーロッパや東ヨーロッパ諸国では第一次産業の割合が高い。		↑3 ヨーロッパ諸国の産業別就業人口(世界の統計 2019年) イギリスやドイツなどの西ヨーロッパ諸国では第一次産業の割合が低いに対し、南ヨーロッパや東ヨーロッパ諸国では第一次産業の割合が高い。		
288	図3	<添付別紙 6 参照>		<添付別紙 6 参照>		
291	1~4	<p>EUの対外関係と課題</p> <p>EU28 かの国全体の人口は、約5億人を数える。また、世界の GDP の約3割を占め、アメリカとほぼ同じ規模の経済圏を形成している。市場統合が進められた結果、EU の域内貿易比率は約6割と高くなっている。域外の貿易相手国としては、アメリカがもっとも高い比率を占めているが、近年ロシア・東欧地域やアジアの比率が伸びてきており、多角的な交易関係が築かれている。</p>		<p>EUの対外関係と課題</p> <p>EU27 かの国全体の人口は、約4億5千万人を数える。2010年代には、世界の GDP の約2割を占め、アメリカとほぼ同じ規模の経済圏を形成してきた。市場統合が進められた結果、EU の域内貿易比率は約6割と高くなっている。域外の貿易相手国としては、アメリカがもっとも高い比率を占めているが、近年ロシア・東欧地域やアジアの比率が伸びてきており、多角的な交易関係が築かれている。</p>		
291	図4	<添付別紙 6 参照>		<添付別紙 6 参照>		
291	図5キャプション	↑5 EU の貿易(世界国勢図会 2018/19年ほか) EU の貿易相手国は、2000年代に入り、アメリカ合衆国の割合が低下し、中国の割合が増加してきている。輸出はアメリカ合衆国が最大で、輸入は中国が最大となっている。		↑5 EU の貿易(世界国勢図会 2018/19年ほか) EU の貿易相手国は、2000年代に入り、中国の割合が増加してきている。輸出はアメリカ合衆国が最大で、輸入は中国が最大となっている。なお、EU の数値はイギリスを含む。		
291	図6キャプション	らは、自動車、食料品、アパレル、医薬品などが輸入されている。		らは、自動車、食料品、アパレル、医薬品などが輸入されている。なお、グラフの数値はイギリスを含む。		

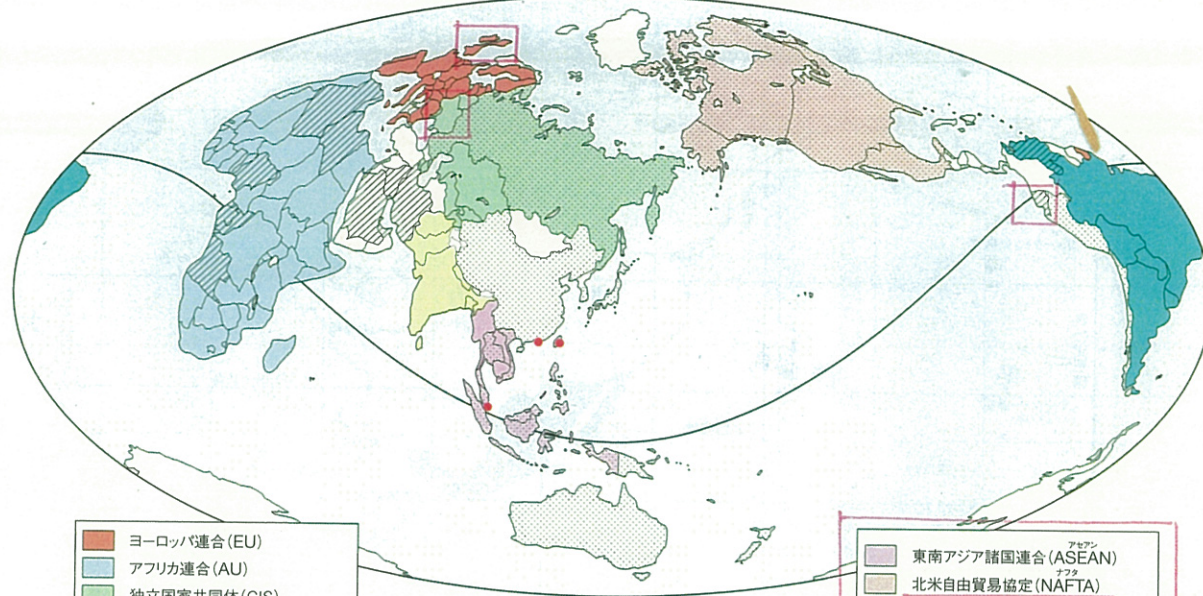
訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
ページ	行			
297	図4キャプション	↑4 ロシアの輸出相手国と輸出品目 (UN Comtrade)	↑4 ロシアの輸出相手国と輸出品目 (UN Comtrade) EUの数値はイギリスを含む。	変更が適切な体裁。記載 (イギリスのEU離脱に伴い適切な表現にするため)
302	2~4	<p>変化するアングロアメリカ経済 アメリカ、カナダ両国の GDP は、世界の約4分の1を占め、EUとほぼ同じ規模である。</p> <p>メキシコを加えた北米自由貿易協定 (NAFTA) 諸国は、世界経済における三極構造の重要な一角をなしている。</p>	<p>変化するアングロアメリカ経済 アメリカ、カナダ両国の GDP は、世界の約4分の1を占める。メキシコを加えたアメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA, NAFTAにかわり発効) 諸国は、世界経済における三極構造の重要な一角をなしている。</p>	更新が適切な事実の記載
302	TERM	した自由貿易協定。2018年に 新たな貿易協定 (アメリカ・メキシコ・カナダ協定, United States-Mexico-Canada Agreement, USMCA) が3か国間で合意、署名された。	した自由貿易協定。2018年に NAFTAにかわる新たな貿易協定であるアメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) が3か国間で合意され、2020年7月に発効した。	更新が適切な事実の記載
303	Keyword	北米自由貿易協定 (NAFTA) 多国籍企業 メジャー (国際石油資本) 資源メジャー	北米自由貿易協定 (NAFTA) アメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) 多国籍企業 メジャー (国際石油資本) 資源メジャー	更新が適切な事実の記載
311	14	対アメリカのシェアをいっそう高めている。	対アメリカのシェアをいっそう高めてきた。	更新が適切な事実の記載
313	17	盟を背景に、アメリカ合衆国への移民が急増している。アンデス地	盟を背景に、アメリカ合衆国への移民が増加してきた。アンデス地	更新が適切な事実の記載
335	索引	UNHCR 177,219 United Nations High Commissioner for Refugees WCW 179 World Conference on Women WTO 166,244 World Trade Organization	国連難民高等弁務官事務所 世界女性会議 世界貿易機関	s High Commissioner for Refugees ites-Mexico-Canada Agreement ence on Women Organization

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由																									
ページ	行																												
297	図4 キャプション	<p>↑4 ロシアの輸出相手国と輸出品目 (UN Comtrade)</p>	<p>↑4 ロシアの輸出相手国と輸出品目 (UN Comtrade) EUの数値はイギリスを含む。</p>	変更が適切な体裁、記載 (イギリスの即離脱に伴い適切な表現にするため)																									
302	2~4	<p>変化するアングロアメリカ経済 アメリカ、カナダ両国の GDP は、世界の約4分の1を占め、EUとほぼ同じ規模である。メキシコを加えた北米自由貿易協定 (NAFTA) ^{ナフタ} 諸国は、世界経済における三極構造の重要な一角をなしている。 <small>(TERM) North American Free Trade Agreement</small></p>	<p>変化するアングロアメリカ経済 アメリカ、カナダ両国の GDP は、世界の約4分の1を占める。メキシコを加えたアメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA, NAFTA) ^{ナフタ} にかわり発効 諸国 <small>the United States-Mexico-Canada Agreement (TERM) North American Free Trade Agreement</small> は、世界経済における三極構造の重要な一角をなしている。</p>	更新が適切な事実の記載																									
302	TERM	<p>した自由貿易協定。2018年に新たな貿易協定 (アメリカ・メキシコ・カナダ協定, United States-Mexico-Canada Agreement, USMCA) が3か国間で合意、署名された。</p>	<p>した自由貿易協定。2018年にNAFTAにかわる新たな貿易協定であるアメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) が3か国間で合意され、2020年7月に発効した。</p>	更新が適切な事実の記載																									
303	Keyword	<p>北米自由貿易協定 (NAFTA) 多国籍企業 メジャー (国際石油資本) 資源メジャー</p>	<p>北米自由貿易協定 (NAFTA) アメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) 多国籍企業 メジャー (国際石油資本) 資源メジャー</p>	更新が適切な事実の記載																									
311	14	<p>対アメリカのシェアをいっそう高めている。</p>	<p>対アメリカのシェアをいっそう高めてきた。</p>	更新が適切な事実の記載																									
313	17	<p>盟を背景に、アメリカ合衆国への移民が急増している。アンデス地</p>	<p>盟を背景に、アメリカ合衆国への移民が増加してきた。アンデス地</p>	更新が適切な事実の記載																									
335	索引	<table border="1"> <tr> <td>UNHCR</td> <td>177,219</td> <td>United Nations High Commissioner for Refugees</td> </tr> <tr> <td>WCW</td> <td>179</td> <td>World Conference on Women</td> </tr> <tr> <td>WTO</td> <td>166,244</td> <td>World Trade Organization</td> </tr> </table> <p>地理 B</p> <p>著作者 金田章裕 ほか12名 (別冊) 発行者 東京書籍株式会社 印刷者 株式会社リニエール</p>	UNHCR	177,219	United Nations High Commissioner for Refugees	WCW	179	World Conference on Women	WTO	166,244	World Trade Organization	<table border="1"> <tr> <td>UNHCR</td> <td>177,219</td> <td>United Nations High Commissioner for Refugees</td> <td>国連難民高等弁務官事務所</td> </tr> <tr> <td>USMCA</td> <td>302</td> <td>the United States-Mexico-Canada Agreement</td> <td>アメリカ・メキシコ・カナダ協定</td> </tr> <tr> <td>WCW</td> <td>179</td> <td>World Conference on Women</td> <td>世界女性会議</td> </tr> <tr> <td>WTO</td> <td>166,244</td> <td>World Trade Organization</td> <td>世界貿易機関</td> </tr> </table>	UNHCR	177,219	United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所	USMCA	302	the United States-Mexico-Canada Agreement	アメリカ・メキシコ・カナダ協定	WCW	179	World Conference on Women	世界女性会議	WTO	166,244	World Trade Organization	世界貿易機関	
UNHCR	177,219	United Nations High Commissioner for Refugees																											
WCW	179	World Conference on Women																											
WTO	166,244	World Trade Organization																											
UNHCR	177,219	United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所																										
USMCA	302	the United States-Mexico-Canada Agreement	アメリカ・メキシコ・カナダ協定																										
WCW	179	World Conference on Women	世界女性会議																										
WTO	166,244	World Trade Organization	世界貿易機関																										

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
74 ✓	TERM ✓	<p>のない平原」を意味するスカンジナビア半島北部の少数民族サーミの言語が語源。</p>	<p>のない平原」を意味するスカン <u>ディナ</u>ビア半島北部の少数民族 ✓ <u>サーミ</u>の言語が語源。</p>
236 ✓	図2 ✓	<添付別紙 7 参照>	<添付別紙 7 参照> ✓

原文

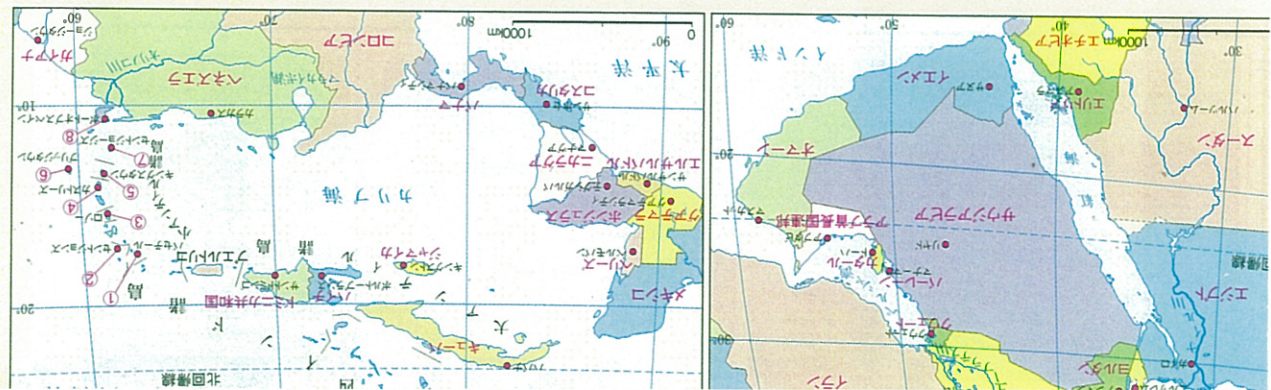
番号1(前見返し)

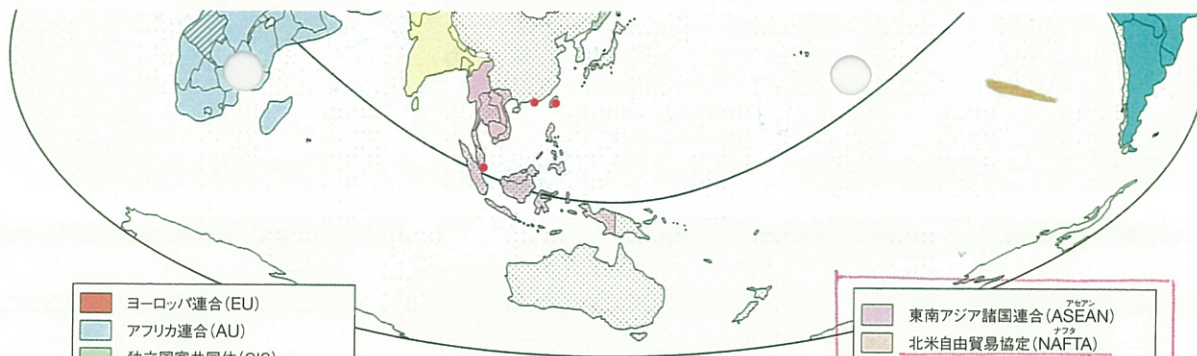


- ヨーロッパ連合 (EU)
- アフリカ連合 (AU)
- 独立国家共同体 (CIS)
- 石油輸出国機構 (OPEC)
- 南アジア地域協力連合 (SAARC)

- 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
- 北米自由貿易協定 (NAFTA)
- 南米南部共同市場 (MERCOSUR)
- アジア太平洋経済協力 (APEC) (2019年8月現在)

OAS (35か国) アメリカ州機構 アメリカ合衆国 カナダ コスタリカ アンティグア・バーブーダ ドミニカ国 グレナダ セントルシア セントビンセント・グレナディーン諸島 セントクリストファー・ネイビス	NAFTA (3か国) 北米自由貿易協定 アメリカ合衆国 カナダ メキシコ	NATO (29か国) 北大西洋条約機構 カナダ アメリカ合衆国 トルコ アルバニア モンテネグロ	EFTA (4か国) 欧州自由貿易連合 スイス リヒテンシュタイン ノルウェー アイスランド	ASEAN (10か国) 東南アジア諸国連合 タイ マレーシア フィリピン インドネシア シンガポール ブルネイ・ダルサラーム ベトナム
CIS (10か国) 独立国家共同体				





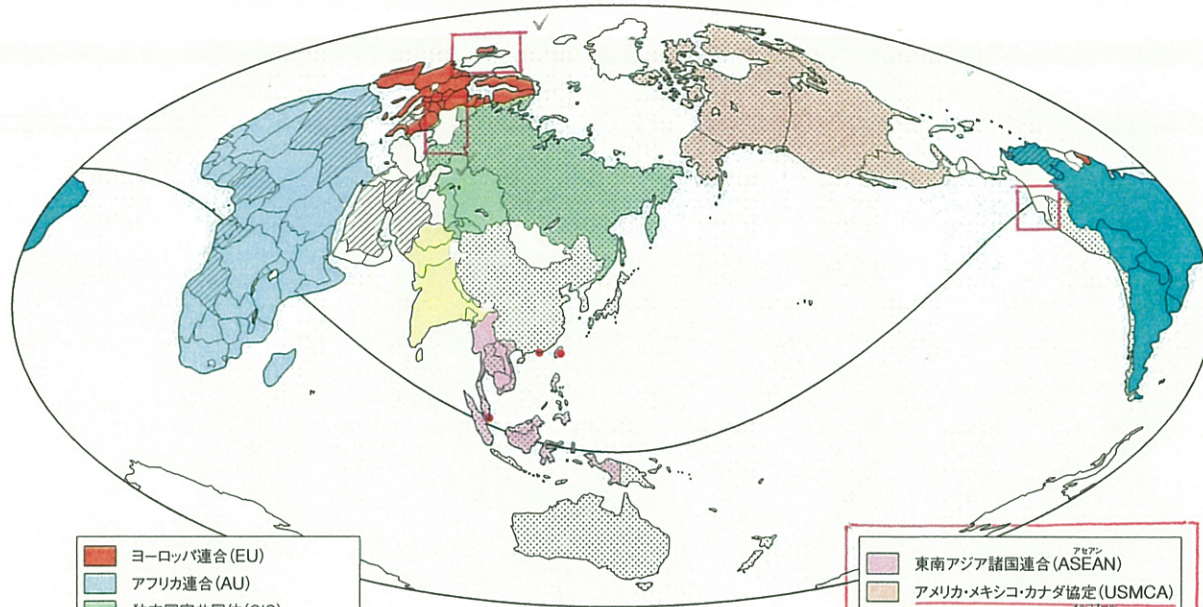
- ヨーロッパ連合 (EU)
- アフリカ連合 (AU)
- 独立国家共同体 (CIS)
- 石油輸出国機構 (OPEC)
- 南アジア地域協力連合 (SAARC)

- 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 - 北米自由貿易協定 (NAFTA)
 - 南米南部共同市場 (MERCOSUR)
 - アジア太平洋経済協力 (APEC)
- (2019年8月現在)

<p>OAS (35か国) アメリカ州機構</p> <p>アメリカ合衆国 カナダ コスタリカ アンティグア・バーブーダ ドミニカ国</p> <p>グレナダ セントルシア セントビンセント・グレナディーン諸島 セントクリストファー・ネイビス</p> <p>メキシコ グアテマラ ベリーズ ホンジュラス エルサルバドル ニカラグア パナマ ハイチ ドミニカ共和国 バルバドス トリニダード・トバゴ バハマ キューバ ジャマイカ チリ</p> <p>■ ベルギー ■ コロンビア ■ エクアドル ■ スリナム ■ ガイアナ</p> <p>■ アルゼンチン ■ ブラジル ■ パラグアイ ■ ウルグアイ ■ ベネズエラ ■ ボリビア</p> <p>MERCOSUR (6か国) 南米南部共同市場</p>	<p>NAFTA (3か国) 北米自由貿易協定</p> <p>アメリカ合衆国 カナダ メキシコ</p> <p>CIS (10か国) 独立国家共同体</p> <p>ロシア連邦 ウクライナ ベラルーシ カザフスタン ウズベキスタン タジキスタン キルギス アルメニア アゼルバイジャン モルドバ</p>	<p>NATO (29か国) 北大西洋条約機構</p> <p>カナダ アメリカ合衆国 トルコ アルバニア モンテネグロ</p> <p>オランダ ベルギー ルクセンブルク ドイツ フランス イタリア イギリス デンマーク ギリシャ スペイン ポルトガル</p> <p>アイルランド スウェーデン オーストリア</p>	<p>EFTA (4か国) 欧州自由貿易連合</p> <p>スイス リヒテンシュタイン ノルウェー アイスランド</p> <p>チェコ ハンガリー ポーランド スロバキア スロベニア エストニア ラトビア リトアニア ブルガリア ルーマニア クロアチア</p> <p>フィンランド マルタ キプロス</p>	<p>ASEAN (10か国) 東南アジア諸国連合</p> <p>タイ マレーシア フィリピン インドネシア シンガポール ブルネイ・ダルサラーム ベトナム ラオス ミャンマー カンボジア</p>	<p>AU (55か国・地域) アフリカ連合</p> <p>アフリカ圏の全独立国と西サハラ</p>
<p>SELA (26か国) ラテンアメリカ経済機構</p> <p>■ はUNASUR(南米諸国連合)加盟国(12か国)</p>	<p>EU (28か国) ヨーロッパ連合</p>	<p>EU (28か国) ヨーロッパ連合</p>	<p>EU (28か国) ヨーロッパ連合</p>		
<p>APEC (21か国・地域) アジア太平洋経済協力</p> <p>日本 アメリカ合衆国 カナダ オーストラリア ニュージーランド 大韓民国 シンガポール マレーシア インドネシア フィリピン タイ</p> <p>ブルネイ・ダルサラーム 中華人民共和国 台湾 香港 メキシコ チリ パプアニューギニア ニュージーランド ベトナム ペルー ロシア連邦</p>	<p>OPEC (14か国) 石油輸出国機構</p> <p>ベネズエラ イラン ナイジェリア 赤道ギニア イラク クウェート サウジアラビア アラブ首長国連邦</p> <p>■ エジプト ■ カタール</p> <p>OAPEC (10か国) アラブ石油輸出国機構</p>	<p>OECD (36か国) 経済協力開発機構</p> <p>アメリカ合衆国 カナダ メキシコ イギリス フランス ドイツ イタリア ベルギー オランダ ルクセンブルク ノルウェー スウェーデン デンマーク</p> <p>アイスランド フィンランド アイルランド スイス オーストリア ギリシャ トルコ スペイン ポルトガル 日本 大韓民国 オーストラリア ニュージーランド</p> <p>ハンガリー チェコ ポーランド スロバキア チリ スロベニア イスラエル エストニア ラトビア リトアニア</p>			

訂正文

番号1(前見返し) ✓



- ヨーロッパ連合 (EU)
- アフリカ連合 (AU)
- 独立国家共同体 (CIS)
- 石油輸出国機構 (OPEC)
- 南アジア地域協力連合 (SAARC)

- 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 - アメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA)
 - 南米南部共同市場 (MERCOSUR)
 - アジア太平洋経済協力 (APEC)
- (2020年8月現在)

OAS (35か国)
アメリカ州機構

アメリカ合衆国	グレナダ
カナダ	セントルシア
コスタリカ	セントビンセント・グレナディーン諸島
アンティグア・バーブーダ	セントクリストファー・ネイビス
ドミニカ国	

USMCA (3か国)
アメリカ・メキシコ・カナダ協定

アメリカ合衆国
カナダ
メキシコ

NATO (30か国)
北大西洋条約機構

カナダ
アメリカ合衆国
トルコ
アルバニア
モンテネグロ
北マケドニア
イギリス

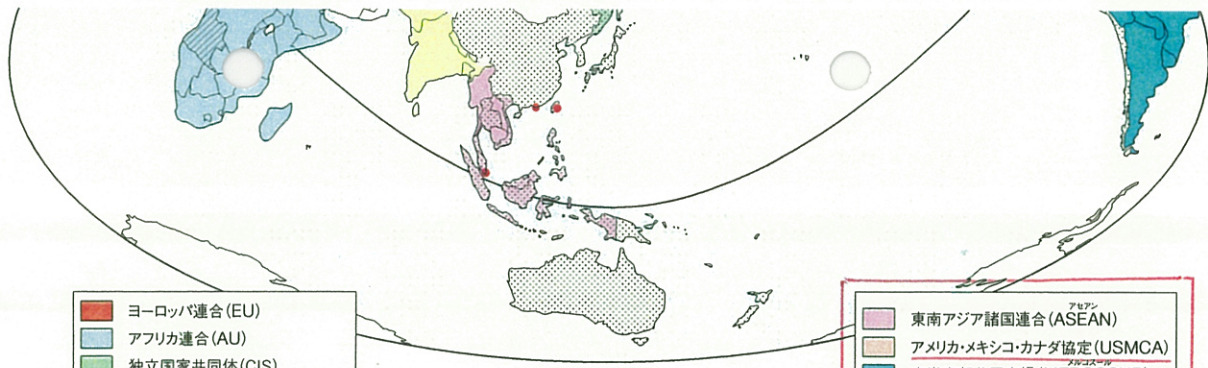
EFTA (4か国)
欧州自由貿易連合

スイス
リヒテンシュタイン
ノルウェー
アイスランド

ASEAN (10か国)
東南アジア諸国連合

タイ
マレーシア
フィリピン
インドネシア
シンガポール
ブルネイ・ダルサラーム
ベトナム

CIS (9か国)
独立国家共同体

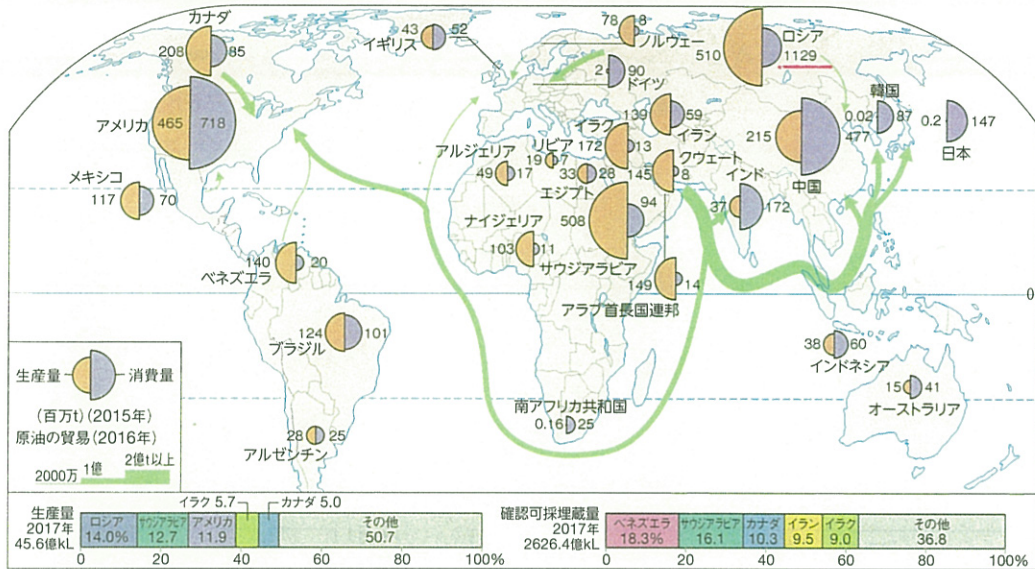


- ヨーロッパ連合 (EU)
- アフリカ連合 (AU)
- 独立国家共同体 (CIS)
- 石油輸出国機構 (OPEC)
- 南アジア地域協力連合 (SAARC)

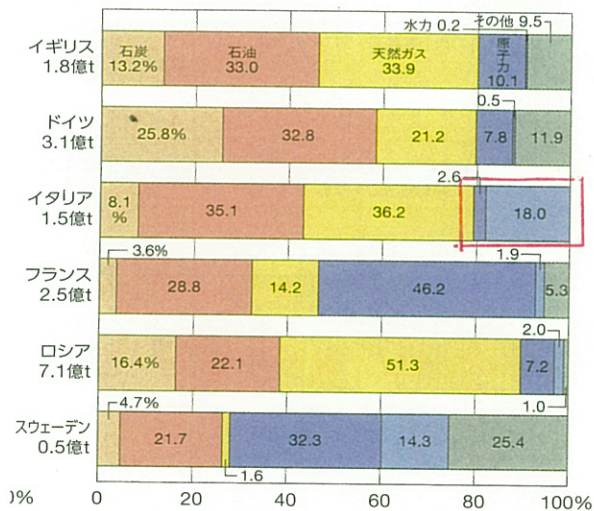
- 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 - アメリカ・メキシコ・カナダ協定 (USMCA)
 - 南米南部共同市場 (MERCOSUR)
 - アジア太平洋経済協力 (APEC)
- (2020年8月現在)

<p>OAS (35か国) アメリカ州機構</p> <p>アメリカ合衆国 カナダ コスタリカ アンティグア・バーブーダ ドミニカ国</p> <p>グレナダ セントルシア セントビンセント・グレナディーン諸島 セントクリストファー・ネイビス</p> <p>メキシコ グアテマラ ペルー ホンジュラス エルサルバドル ニカラグア パナマ ハイチ ドミニカ共和国 バルバドス トリニダード・トバゴ バハマ キューバ ジャマイカ チリ</p> <p>■ ベレー ■ コロンビア ■ エクアドル ■ スリナム ■ ガイアナ</p> <p>■ アルゼンチン ■ ブラジル ■ パラグアイ ■ ウルグアイ ■ ベネズエラ ■ ボリビア</p> <p>MERCOSUR (6か国) 南米南部共同市場</p>	<p>USMCA (3か国) アメリカ・メキシコ・カナダ協定</p> <p>アメリカ合衆国 カナダ メキシコ</p>	<p>NATO (30か国) 北大西洋条約機構</p> <p>カナダ アメリカ合衆国 トルコ アルバニア モンテネグロ 北マケドニア イギリス</p>	<p>EFTA (4か国) 欧州自由貿易連合</p> <p>スイス リヒテンシュタイン ノルウェー アイスランド</p>	<p>ASEAN (10か国) 東南アジア諸国連合</p> <p>タイ マレーシア フィリピン インドネシア シンガポール ブルネイ・ダルサラーム ベトナム ラオス ミャンマー カンボジア</p>
<p>SELA (26か国) ラテンアメリカ経済機構</p> <p>■ (はUNASUR(南米諸国連合)加盟国(12か国))</p>	<p>CIS (9か国) 独立国家共同体</p> <p>ロシア連邦 ベラルーシ カザフスタン ウズベキスタン タジキスタン キルギス アルメニア アゼルバイジャン モルドバ</p>	<p>オランダ ベルギー ルクセンブルク ドイツ フランス イタリア デンマーク デンマーク ギリシャ スペイン ポルトガル チェコ</p>	<p>ハンガリー ポーランド スロバキア スロベニア エストニア ラトビア リトアニア ブルガリア ルーマニア クロアチア</p>	<p>AU (55か国・地域) アフリカ連合</p> <p>アフリカ圏の全独立国と西サハラ</p>
<p>APEC (21か国・地域) アジア太平洋経済協力</p> <p>日本 アメリカ合衆国 カナダ オーストラリア ニュージーランド 大韓民国 シンガポール マレーシア インドネシア フィリピン タイ</p> <p>ブルネイ・ダルサラーム 中華人民共和国 台湾 ホンコン メキシコ チリ バプアニューギニア ベトナム ペルー ロシア連邦</p>	<p>OPEC (13か国) 石油輸出国機構</p> <p>ベネズエラ イラン ナイジェリア 赤道ギニア イラク クウェート サウジアラビア バーレーン シリア</p> <p>アンゴラ ガボン コンゴ共和国 アラブ首長国連邦 アルジェリア リビア エジプト カタール</p> <p>OAPEC (10か国) アラブ石油輸出国機構</p>	<p>OECD (37か国) 経済協力開発機構</p> <p>アメリカ合衆国 カナダ メキシコ イギリス フランス ドイツ イタリア ベルギー オランダ ルクセンブルク ノルウェー スウェーデン デンマーク</p> <p>アイスランド フィンランド アイルランド スイス オーストリア ギリシャ トルコ スペイン ポルトガル 日本 大韓民国 オーストラリア ニュージーランド</p> <p>ハンガリー チェコ ポーランド スロバキア チリ スロベニア イスラエル エストニア ラトビア リトアニア コロンビア</p>		

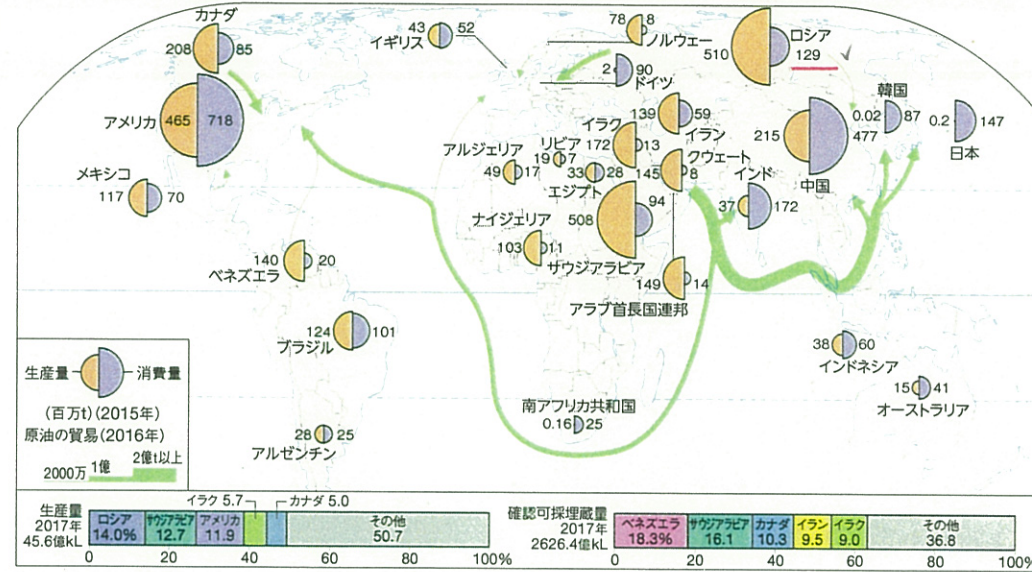
番号2 (P.126)



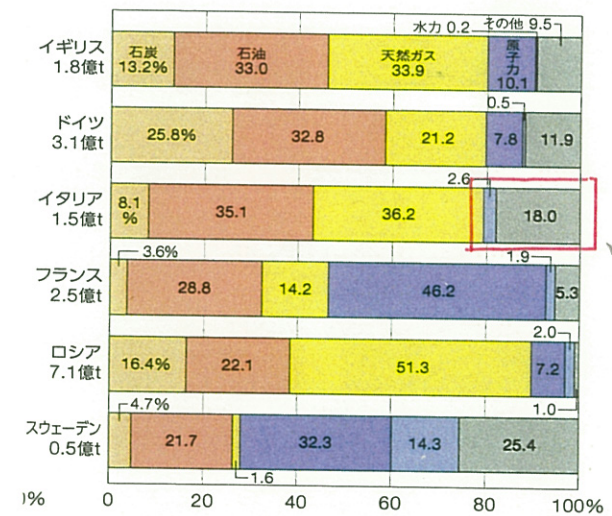
番号3 (P.134)



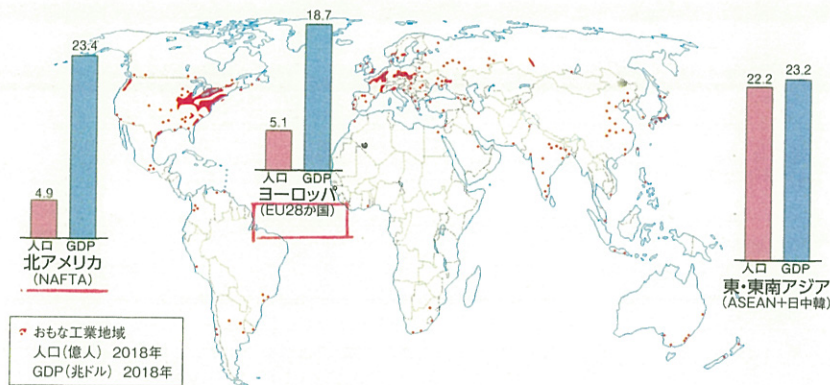
番号2 (P.126)



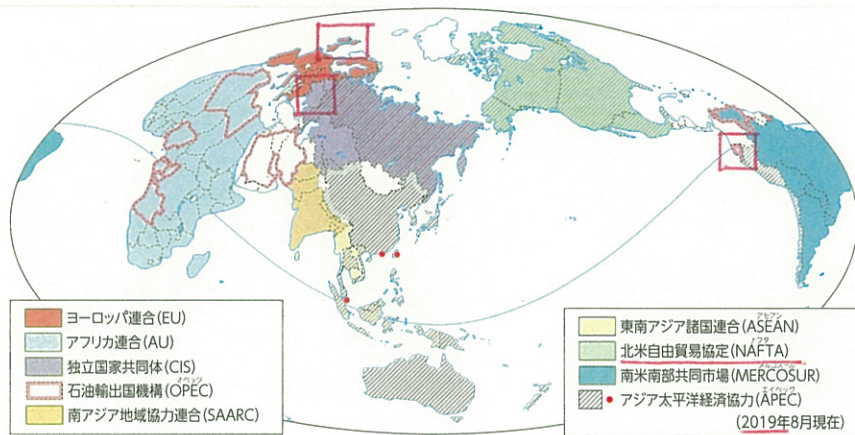
番号3 (P.134)



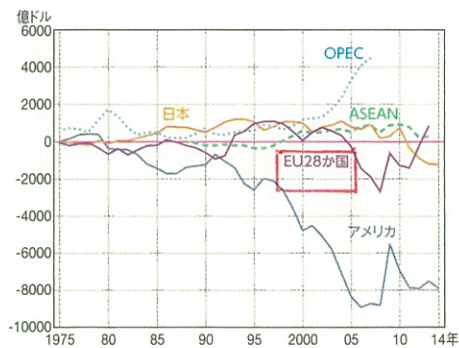
番号5
(p.138)



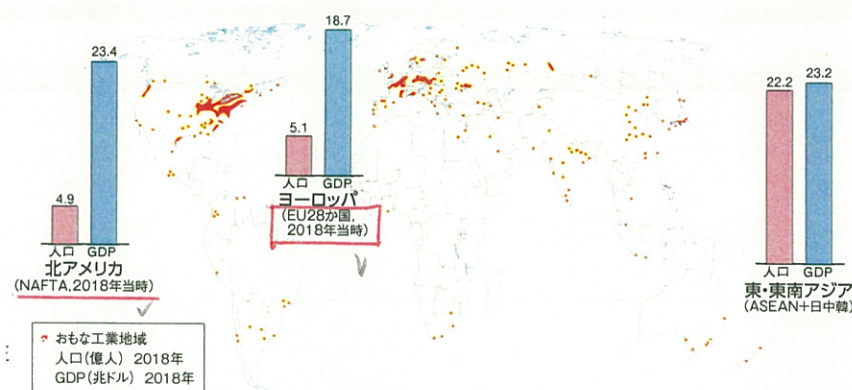
番号8
(p.166)



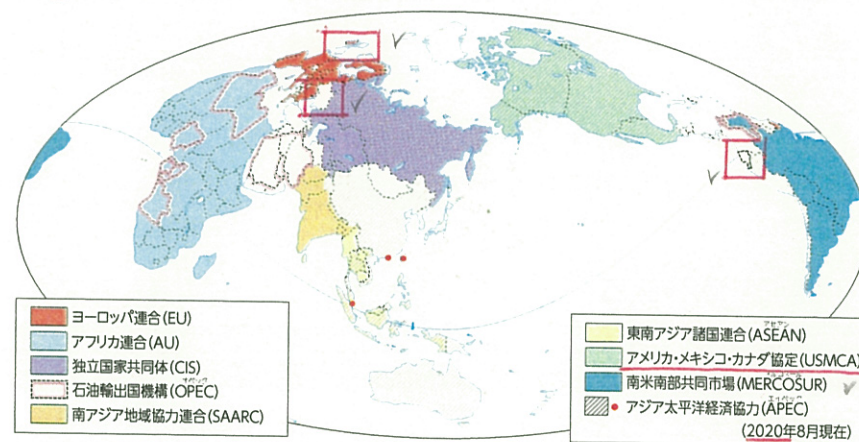
番号12
(p.170)



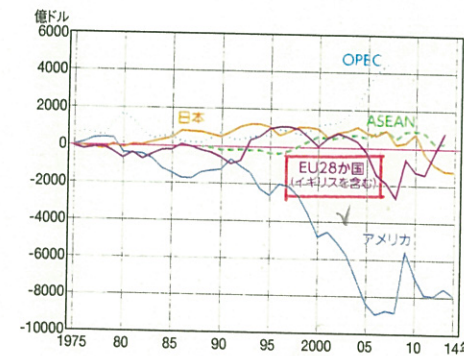
番号5
(p.138)

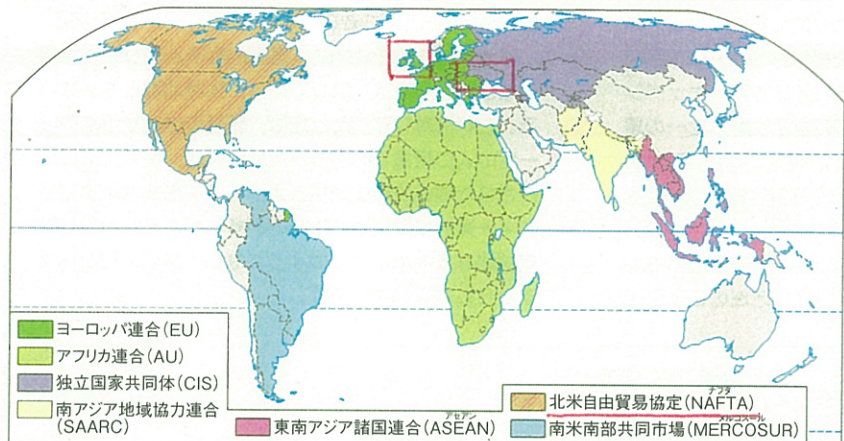


番号8
(p.166)

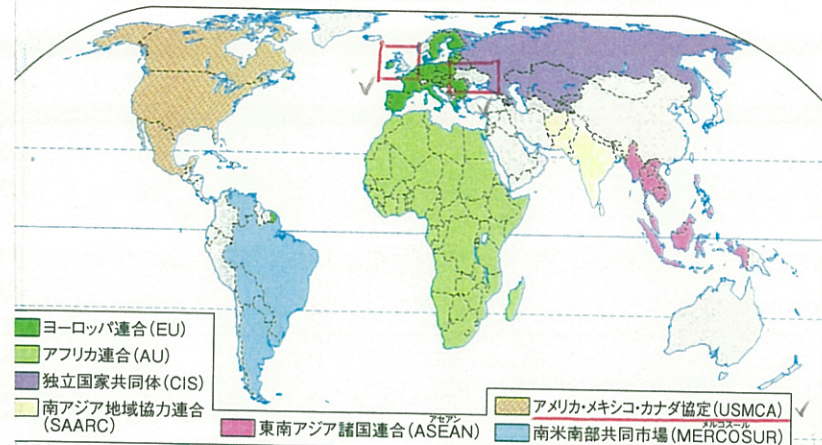


番号12
(p.170)





◀ 2 おもな国家群による地域区分 (2019年 8月現在) (著者原図)



◀ 2 おもな国家群による地域区分 (2020年 8月現在) (著者原図)

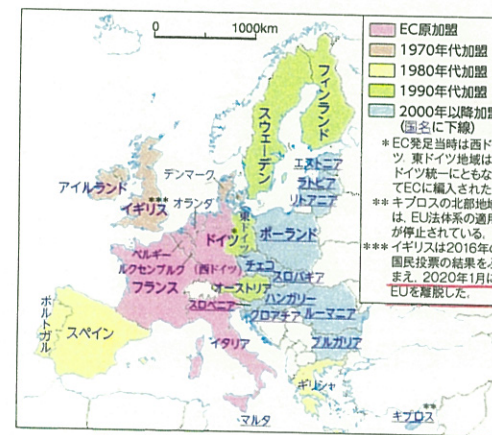
番号13 (p.231)

番号15 (p.283)



番号13 (p.231) ✓

番号15 (p.283) ✓



遂げ
景に,
経て,
業を

2002	ユーロ紙幣・通貨の流通開始
2004	エストニア, ラトビア, リトアニア, ポーランド, チェコ, スロバキア, ハンガリー, スロベニア, マルタ, キプロス加盟
2007	ルーマニア, ブルガリア加盟
2013	クロアチア加盟
↑ 6 ヨーロッパ統合の歩み	

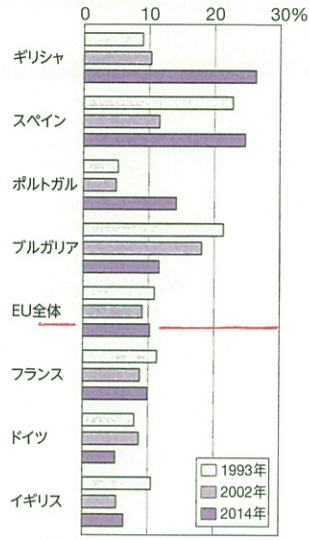
番号16 (p.283)

遂げ
景に,
経て,
業を

2002	ユーロ紙幣・通貨の流通開始
2004	エストニア, ラトビア, リトアニア, ポーランド, チェコ, スロバキア, ハンガリー, スロベニア, マルタ, キプロス加盟
2007	ルーマニア, ブルガリア加盟
2013	クロアチア加盟
2020	イギリス離脱
↑ 6 ヨーロッパ統合の歩み	

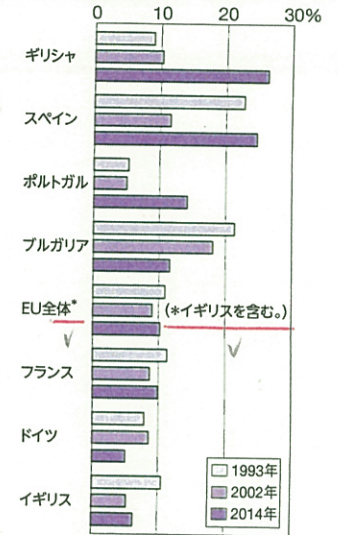
番号16 (p.283) ✓

番号22
(p.288)



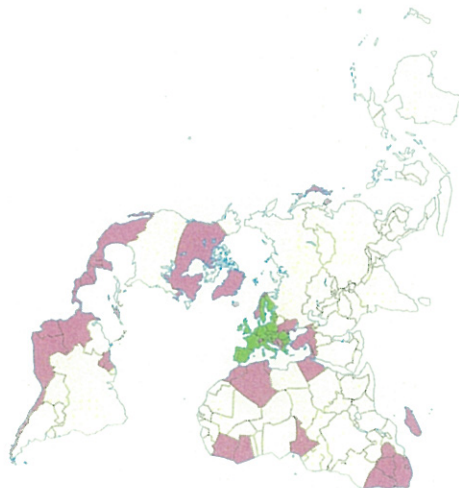
↑ 8 EUのおもな国の失業率(World Development Indicators)

番号22
(p.288)



↑ 8 ヨーロッパのおもな国の失業率(World Development Indicators)

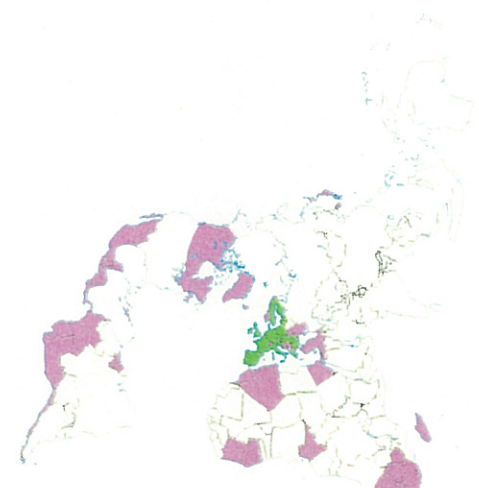
番号24
(p.291)



EU加盟国
EUの自由貿易協定(FTA)締結国*

*発効済み。EPAを含む。
カナダは暫定発効。

番号24
(p.291)



EU加盟国(2019年現在) ✓
EUの自由貿易協定(FTA)締結国*

*発効済み。EPAを含む。
カナダは暫定発効。

番号35
(p.236)

番号35
(p.236)

